



高輪だより

平成27年10月号

港区立高輪幼稚園

園長 新山 裕之

＜社会の変化を見据えた幼児教育を＞

今、文部科学省では20年30年先の社会を見据えて、教育課程の大きな改革に取り組み始めています。それは、今後確実に予想される困難な時代に、物事に前向きに立ち向かい克服していく力を育てることが必要だからです。知識があるだけでは意味がありません。昨年、保護者向けの講演会をお願いした、企業の人材育成のプロである桑原さんも、社会に出たときに大事なものは、知識や学歴などでなく、「現実対峙力」だとおっしゃっています。つまり、困難な場面で、それに立ち向かう構えや、周囲の人とどう協力することができるかが大事だということです。まさに、幼児教育で大事にしていることが、社会で活躍するときに最も大事なことだということなのです。桑原さんは、そんな思いを強くおもちだからこそ、お子さんは大学生や高校生であるにもかかわらず、都幼Pの副会長を務めてくださっているのだと思います。

＜多様性を尊重する構えを育てる＞

特別な支援が必要なお子さんは、全国平均で約7%在籍していると言われています。また、港区の学校や幼稚園にはたくさんの外国籍のお子さんがいます。社会の急速で大きな変化を見据えても、幼児期から多様性を尊重する構えを育てることが求められています。先日の東京新聞に「日本が100人の村だったら」という記事(右写真)が載っていましたので、ご紹介します。

＜自然の多様性さにも対応する力を＞

身近な自然とどのように付き合うかも大事なことです。園庭には様々な草花が育ち、虫もいます。それらの中には注意が必要な相手もいます。ヨウシュヤマゴボウの実は、紫の色水が簡単にでき、子どもたちには人気ですが、口にすると腹痛を起こすことがあるそうです。子どもたちには口に入れないことや遊び終わったら手を洗うなどの指導を徹底しています。身の回りはいろいろな物があり、それらの特性を知った上で、対応する力を育てたいと思っています。保護者の皆さんも、そのことをご承知おきいただきたいと思っています。

・・・神無月(かなづき)・・・

寒露(8日)・・・空が澄み、柿の実が色付き始めます・・・

霜降(24日)・・・数珠玉が色付いて取り頃になります・・・

夏の初めに実を付けはじめた柿の実。途中で随分落ちてしまったのですが、残った実が熟し始め、秋の訪れを実感します。港区は思いのほか自然が豊かで、柿などを目当てにスズメバチが飛んでくることがあります。昆虫とは仲良くしたいものですが、スズメバチやケムシは別扱いです。もし見掛けたら、慌てずにその場を離れてお知らせください。

高輪の
二十四節気



徐々に走り方にも力が入ってきたルー



運動会での応援団は、その場でできる内容を検討中です。お気軽にご参加ください。

HEART & DESIGN FOR ALL

誰もが暮らしやすい社会の実現へ

いろいろな人が生きている。あなたも、いろいろな人。

病が強い人、高い人、右利き、左利き、高齢者や子ども、ケガした人や障がい者。社会には、いろいろな人がいる。異なる方々もそれぞれで、互いに尊重し合う。いろいろな人がいる、ということをお互いに考えてみる。

東京新聞 9月26日の記事



日本が100人の村だったら...



ヨウシュヤマゴボウ
(遊び終わったら手を洗います)

今月の保育のねらい

3歳児 年少組

○興味のあることをしたり、気になる幼児と同じ動きをしたりして、いろいろな遊びの楽しさを味わう。

○教師や友達と、一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。(踊る、走る、鬼ごっこ等)

♪今月のうた たべものれっしゃ

4歳児 年中組

○気の合う友達と遊ぶ中で、自分の思いを言葉や動きで表し、伝えようとする。

○思い切り体を動かす気持ちよさや、学級や学年の友達と動きや声がそろそろ楽しさを味わう。

○秋の自然に気付いたり、遊びの中に取り入れたりする楽しさを味わう。

♪今月のうた はしるのだいすき

5歳児 年長組

○運動会に向けて、一人一人が自分の力を発揮し、友達と一緒にする充実感を味わう。

○友達と一緒に遊び方を考えたり、必要な物や場を作ったりしながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを感じる。

○秋の自然物に関心を持ち、自分たちの生活や遊びに取り入れることを楽しむ。

♪今月のうた まっかなあき

たかなわ いま むかし

その7「研究の高輪幼稚園」

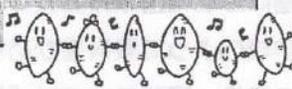
沿革誌などをひも解いている中で、改めて驚いたことの一つに、高輪幼稚園の研究の充実ぶりがありました。「先生たちも日々勉強！」のコーナーでもお知らせしているように、教員の資質向上は、質の高い保育を実践する上で欠くことができません。環境による教育と言われる幼児教育において、最も重要な環境は、教師自身だからです。

開園直後から、保育の充実を目指した研究体制が生まれ、昭和52、53年には、当時の都立教育研究所の研究奨励園と区の研究奨励を同時に受け、何と、毎月都研や区教委の指導主事や大学教授など保育の専門家のご指導を受けていた記録が残っています。また、最近では私が赴任する前年に区の研究奨励園として主体的に遊びに取り組む幼児の育成をテーマに研究発表をしました。その大きなテーマは今も引き継ぎながら、自然との関わりや体を動かすことなどを窓口にして、研究と研修を続けて、子どもたちの経験や育ちにその成果を反映させてきています。

特にここ2年は、全学級で研究保育を行い、教師全員で保育を見合い、協議をする研究・研修を行うことができています。これは、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰ですし、高輪幼稚園の保育の質の高さを示す証でもあるとも考えています。

幼児教育の本質を守り、伝え続けていくことは公立幼稚園としての大きな使命の一つです。「学び続ける教師たれ」。この言葉を胸に刻み、これからも研究の高輪幼稚園の歴史を受け継いでいきます。教師として人として、子どもたちの前に立つにふさわしい人であり続けるために、自己を磨き続けたいと思います。

園長 新山

10月の行事予定		
1	木	都民の日（幼稚園はお休みです）
2	金	PTA運営委員会
3	土	
4	日	花いっぱいにする会（花配り）
5	月	身体測定⑤ 食育教室
6	火	避難訓練
7	水	花いっぱいにする会（花植え） 身体測定③ ひよこの会 サポート保育利用決定日
8	木	寒露 身体測定④ スクールカウンセラー来園日
9	金	赤十字の日 安全指導 交通安全日
10	土	みなと区民まつり
11	日	みなと区民まつり
12	月	体育の日 
13	火	
14	水	午前保育 サポート保育休止 サポート保育利用決定日
15	木	職場体験（高松中） キッズヨガ（サポート保育）
16	金	職場体験（高松中）
17	土	午前保育 サポート保育休止
18	日	運動会 ひよこの会 午前保育 園庭開放休止
19	月	振替休業日 高松アカデミーあいさつ運動始
20	火	振替休業日
21	水	幼稚園説明会 ひよこの会 サポート保育利用決定日
22	木	スクールカウンセラー来園日
23	金	歯科検診 個人面談始 13:30 降園 高松アカデミーあいさつ運動終
24	土	霜降
25	日	
26	月	個人面談 13:30 降園
27	火	個人面談 13:30 降園
28	水	高輪探検隊③④⑤ 評議員会 サポート保育利用決定日
29	木	誕生会 個人面談 13:30 降園
30	金	個人面談終 13:30 降園 
31	土	

衣替えについて、9月高輪だよりでお知らせの通り、10/2～10/9は移行期間です。

1日（木）都民の日
幼稚園はお休みです。親子で都の施設を訪れたり、催しに参加してみたりしてはいかがでしょうか。

8日（木）花いっぱい活動（花植え）④
4歳児が「桂坂を花いっぱいにする会」に参加し、花の苗を植えます。
当日は、環境委員の方にもお手伝いしていただきます。
4日（日）には、植え替え準備を兼ねた花配りが予定されています。

10日（土）11日（日）みなと区民まつり
2日間、芝公園周辺で、みなと区民まつりが行われます。港区立幼稚園の教職員による遊びやステージ、PRコーナーがあります。是非、お出掛けください。

14日（水）区教研
区内の全教員が参加し、研修と研究を深めます。午前保育にご理解、ご協力をお願いいたします。

15日（木）16日（金）職場体験（高松中）
高松中学校より、職場体験として中学2年生が来園します。中学生にとっても園児にとっても、この交流がすてきなかわりの体験となるようにしていきます。

18日（日）運動会
今年度も、高輪台小学校をお借りし運動会を行います。晴天時は校庭、雨天時は体育館の予定です。
各学年とも運動会に向け、思い切り、そして楽しく体を動かしていきたいと思います。
当日は、お子さんの頑張っている姿や成長した姿をぜひご覧ください。そして、お家の方も積極的に参加していただき、一緒に楽しんでください。詳しくは、配布しました手紙をお読みください。

19日（月）～23日（金）高松アカデミーあいさつ運動
高松アカデミー（高輪台小、高輪幼、白金小、白金台幼、高松中）で一斉にあいさつ運動を行います。朝の門前のあいさつや地域でのあいさつを、皆さんで積極的にいたしましょう。

21日（水）幼稚園説明会
来年度の入園に向け、幼稚園説明会を行います。この日は、ひよこの会（10:00～11:30）も同時に開催していますので、ご近所にご希望の方がいらしたらお声掛けをお願いします。
（時間・場所）10:30～11:00 みんなのへや
（持ち物）上履き、外履きを入れる袋
○事前の申込は必要ありません。

23日（金）歯科検診（3, 4, 5）
園医の青木先生に来ていただき、2回目の歯科検診を行います。治療の必要のある方には、用紙をお渡ししてお知らせします。早めの治療をお願いします。

28日（水）高輪探検隊③④⑤
全園児で高松中学校まで徒歩で行き、中学校の広い施設で遊ばせていただきます。4, 5歳児は、水筒を肩から提げていきます。準備をお願いします。

28日（水）評議員会
PTA会長、地域の方々、近隣の小中学校長の皆様などに幼稚園の教育内容についてご意見をいただき、よりよい教育を進めていきます。年間3回実施の2回目です。

29日（木）誕生会
誕生児の保護者の方へご参加ください。
4歳児、5歳児 9:15～（みんなのへや）
3歳児 12:40～（うさぎ組保育室）

先生たちも日々勉強！

その6「教科書のない教育を教えるために…」

私たちは教育公務員です。法律によって研修が義務付けられています。また、教員免許状がなければ、子どもたちの前に立つこともできません。免許状は更新制度があり、10年毎に合計30時間の講義と試験を受けて合格し、申請して更新手続きをする必要があるのです。

また、東京都には、都幼教という研究・研修組織があります。正式名称は、東京都公立幼稚園教育研究会。平成23、24年度の会長は、高輪幼稚園の前任園長の木村英美先生です。今年の夏、その都幼教は70周年の記念式典を行いました。それほど昔から、公立幼稚園は研究と研修を大事にし、歴史を積み重ねてきているのです。毎年の夏季研修会では、実技的な研修もあり、担任はもちろん、今年は、私もパネルシアターを作ったり、特別支援教育に関してのロールプレイをしたりして学んできました。

小学校には学習指導要領があります。幼稚園には幼稚園教育要領があり、幼児教育の標準を示しています。しかし、幼稚園教育には小学校のように教科書がありません。子どもたちに育てたいことは、心情・意欲・態度です。つまり、育てたいのは「構え」なのです。例えば、言葉や文字で大事なことは、読み書きができるようになることではなく、言葉で自分の思いを整理したり、言葉を使って人に物事を伝え、コミュニケーションを取ることで生活が楽しく豊かになるということを経験することが大事なのです。

今年の「幼児教育じほう」4月号に、それらについて文部科学省の視学官 津金美智子先生にお書きいただきました。子どもたちの園での姿も交えた分かりやすい文章です。巻末に添付しますので、ご家族でお読みいただき、幼稚園で大事にしていることをご理解いただく一助としていただければと思います。

もう一枚、前回の子育てシェアトークの際の資料も、皆さんにお配りします。

昨年9月の園だよりでもご紹介した、東田直樹さんの著書「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」を一部抜粋した資料です。巻頭言にも書いたように、いろいろな人がいるのが当たり前で、立場を変えて物事を見る「構え」を我々大人がもつことが必要だと思えます。

もう一つ、2013年「新聞広告クリエイティブコンテスト」の最優秀賞「めでたし、めでたし？」という広告も小さくご紹介してあります。「ボクのおとうさんは、桃太郎というやつに殺されました。」という、鬼の子どもの一言だけの、シンプルな新聞広告です。最後の吹き出しに添えられたメッセージは「一方的な『めでたし、めでたし』を、生まないために。広げよう、あなたがみている世界。」です。考えさせられる内容です。

園長 新山

